

令和5年度 事業運営基本方針

I はじめに

本連盟は、本県における自転車競技統轄団体であり、自転車競技（サイクルスポーツ）の普及発展を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的として事業を推進する。その目的達成のため、関係機関との連携を図りながら社会貢献に尽力していく。

本連盟は、(公財)日本自転車競技連盟に新潟県代表加盟団体、(公財)新潟県スポーツ協会に自転車競技代表加盟団体である。

近年は、2009 トキめきにいがた国体、2012 北信越かがやき全国高校総体、10回を数えた新潟ヒルクライム(弥彦山)や7回を数えた南魚沼サイクルフェスタ(プロロードレース、クリテリウム、グルメライド)の実施により、サイクルスポーツの魅力と価値の実感をアピールできる活動に寄与してきた。今後も継続発展していけるよう推進する。

最重点課題として、各世代、各性別の各種目競技者の増大によるチーム数拡充と競技力向上及び、普及活動が挙げられる。令和に入り、少子化やジュニア世代のスポーツ離れの問題は顕著で、自転車競技も同様である。しかし、ジュニア育成の拡充による底辺拡大こそが、生涯スポーツとして息の長い自転車競技者を育成するベースであることを再認識して取り組みたい。

「新潟から世界の大舞台で活躍するサイクリストを輩出する」という命題の具現化に向け、ジュニア育成事業の継続と見直しにより、世界や全国で活躍する競技者の排出を願うものである。

また、国内スポーツ界は、選手、指導者、団体の不祥事やハラスメント事案などの問題を残してきた。課題に真摯に向き合い、信頼ある競技団体であり続け、次代を担う青少年たちが競技に取り組める環境を維持していく使命がある。競技団体の事業運営適正性の確保について、スポーツ庁制定のガバナンスコードに対応したガバナンスの構築により、公益性と社会的意義を自覚した透明性ある新潟車連を運営維持していくことを自覚したい。役員、競技者(個人・チーム)、審判員等の構成員は、法令及び規約の遵守に努め、ハラスメント、不法・不正行為の根絶、防止に努め、信頼を損なわず、コンプライアンス推進についての高潔性確保に努めながら運営していくことが求められる。

II 事業推進の方針

I 競技水準向上

生涯スポーツである自転車競技の魅力を発信しながら各年代の男女競技者拡大

競技者の公認大会での活躍と成長(心技体)への支援

選手育成、派遣、目標達成の具現化

(国民体育大会のロード・トラックの各種別(成年少年男子、女子)の得点獲得・高校スポーツ強化指定校・新潟ジュニア育成・地域ジュニアスポーツクラブ育成)

次代を担うジュニア選手の育成・強化を図るため、長い目で見た継続支援、指導

ジュニア育成システムを重点事業とし中長期的、計画的な計画プラン策定
我が国を代表して活躍する選手候補への応援支援体制の整備
顕著な成績を挙げた競技者の栄誉を称えての表彰と今後の活躍の激励

2 普及・振興

- (1) 多様化するサイクルスポーツニーズに対応した普及のための大会やイベントの開催と各地域の団体や機関と連携した事業継続や拡充の推進
- (2) 各種大会の主催、共催、後援支援
- (3) 指導者の資質、指導力の向上及び 競技者の強化におけた研修会の開催
大会運営、チーム運営に携わる者の資格取得者増加及び資質能力の向上
本県の各種目の全県広域的な普及に向けた情報収集と支援

3 組織・財政基盤の確立

- (1) 継続的にスポーツ振興ならびに社会的信頼の確立を図ることを自覚し、年間計画に基いた見通しのある事業推進
- (2) 財政基盤安定を図るため基本財産の維持かつ有効的な資金運用に努め、自主財源確保も視野に踏まえた事業推進
- (3) ホームページの刷新と有効的積極的活用による迅速な情報提供と事業効率化

事業の具体的取組

- ① 各理事の適材適所での活躍と委員会制機能におけた取り組み
定例常任理事会、春の総会、定例理事会（秋 冬）、各委員会の整備と機能向上
- ② 財源確保
会費収入や大会運営事業収入増に向けた大会の継続、計画的補助金申請、及び協賛金、寄附金を募り、自主財源増額を図る。
新潟登録競技者・公認審判員・アテンダント資格者は本連盟会員であることの周知。
- ③ 大会派遣
(公財)日本自転車競技連盟、(公財)全国高体連自転車競技専門部、日本学生自転車競技連盟、関東自転車競技連合大会への選手派遣、スタッフ派遣、大会費用支援、機材貸与
- ④ (公財)新潟県スポーツ協会競技水準向上事業の推進
国体選手強化事業の計画的実施、高校スポーツ強化指定校の協力・新潟ジュニア育成・地域ジュニアスポーツクラブ育成の年間計画立案と活性化
国民体育大会での個人、総合入賞を目指すためのサポート体制の整備
- ⑤ 目的を明確化した主催大会の開催
県選手権ロードレース弥彦大会 県選手権トラックレース(国体1次選考会)、国体

予選会(最終選考会) 秋のトラックレース実施
ロード個人タイムトライアル選手権継続開催

⑥ 関係団体との連携、協力

(公財)日本自転車競技連盟 関東自転車競技連合

(公財)全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)、日本学生自転車競技連盟 (公財)全国
高体連自転車競技専門部等の大会主管や協力

弥彦競輪クラブスピリッツ事業

新潟県 BMX 協会、シクロクロス等競技団体、新潟県トライアスロン連合

新潟県スポーツ協会、県スポーツ課

新潟ヒルクライム実行委員会(新潟市)、南魚沼サイクルフェスタ実行委員会

湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会